

集団説明会を求める賛同署名を集める

昨年暮に藤沢と鎌倉の境界にある高台の景勝地、片瀬山住民 A さんから相談の電話が入りました。「モノレールを挟んだすぐ近くの空地に 15m の楽天モバイル(R 社)の携帯基地局ができる。私は心臓病で金属が体に入っているから心配でたまらない。」とのこと。早速お隣の B さんと 3 人で現地を視察。なるほど、ここに建ったら二人とも目の前の距離でした。

お隣の鎌倉市の条例(携帯基地局の高さの 2 倍の半径以内の住民には集団説明会が必要)を読みました。そして、藤沢市でも鎌倉市と同じように半径 30m 以内の住民を訪問して、「携帯会社 R 社と地権者の S 社に集団説明会を求める」市長要望書を作り、これへの賛同署名を集めることにしました。

加藤なを子前県会議員とも相談して近隣の方に説明し署名を開始。結果は 30m 以内の住民 14 世帯のうち 9 軒を含む賛同署名を集めて、先ずは市長に提出。

しかし R 社は「個人への説明には応じるが説明会は義務付けられていない」との態度に終始。

地権者 S 社への要請行動開始

これはならずと、A さんの「風致地区での基地局設置について」という長い説得力のある意見書と要望書をもって、今度は地権者である湘南モノレール(S 社)へ 9 人で要請行動。共闘議員も見守る中、A さんが本社入り口ではありますが 5 分間切々と自身の心臓病のことを訴えました。はじめは「会わない、受け取れない」と言っていた担当者も「預かります」と言って書面を受け取って貰いました。

住民の中には A さん以外にも「高周波による電磁波障害もしくは過敏症の自覚症状を訴え、今後経過観察を要する」旨の診断書を予定している方も生まれました。

住民の会発足集會に 20 人が集まる

1/23 に現地で発足集會を開きました(写真)。来賓には藤沢と鎌倉の市議員 3 名、電磁波運動団体の方が参加し挨拶と報告。A さんが自身の健康に大変な害があることを訴えているにも関わらずこれを無視してのこれまでの R 社の態度に怒りと建設反対の声をあげました。T さんも自身の過敏症の体験をふまえて「R 社は住民の健康不安にもっと答えるべきだ」との発言が続きました。

最後に会の規約を採択し、毎週の現地集會の開催と電磁波と健康についての学習会と宣伝をすることを決めていました。



S 社より「当社役員会にて R 社の申し出を正式にお断りしました。」との連絡。B さんの夢

近隣住民が工事の兆候に築いてから 2 か月でのスピード解決。もう一人の一人暮らしの住民 B さんは、「1 階の大部屋を片付けて、将来はここ片瀬山の無線基地局建設に反対する人たちと交流するスペースにしたい。」と言う。片瀬山の歴史風土、電磁波の学習と展示、反対運動の活動日誌、、、こうした展示施設と付属のカフェ。運動の中で将来このような施設を作りたいと願う B さんです。